和　　　文　　　題　　　目

[一行空白]

Title in English (英文題目)

[一行空白]

著者名（和　　文）
著者名（ローマ字）
所属名（和　　文）
所属名（英　　文）

[一行空白]

内 容 梗 概：約300文字（一行35文字で8～9行程度）以内で内容梗概を記載する（必須項目）。

Abstract：Your abstract is limited to 200 words (a mandatory field) .

キーワード：最大5つまで記入できる（必須項目）。

Keyword : A maximum of five keywords shall be written in this line (a mandatory field) .

# 原稿用紙

研究会資料はA4版（白地）で、著者が作成したPDF原稿または紙原稿をそのまま白黒で印刷します。PDFの作成は、図表のずれ等がないか、各自でご確認ください。また、PDFは、白黒印刷で鮮明に見えるようご配慮ください。

## 原稿の書式に関して

このテンプレートファイルを用いて作成するか、もしくは任意のA4判の用紙を利用して作成する。なお、用紙の余白部分の寸法は、上下各25mm以上、左右各20mm以上とする。

## タイトル等（１頁目）に関して

上記の例に従い、1頁目には必ず和英文題名、和英文著者名、和英文所属名、300字以内の内容梗概および200単語以内のAbstractと、最大5つまでのキーワードおよびKeywordを書く。

## 本文に関して

上記の内容梗概に続けて本文を書くが、一頁の行数は40行を標準とし、一行の文字数は、一段組とする場合48文字、二段組とする場合23文字（左右の段の間隔は二文字分）を標準とする。

# 原稿提出枚数

原稿枚数は原則として、本文・図・表・写真を含めて8頁以内（表紙を除く）とするが、発表の内容により超過することも認める。

# フォント、文字サイズ、行数等に関して

文字はワードプロセッサ、タイプ（清打ち又はリボン打ち）、又は手書き（黒インキ使用）とする。使用する字体（明朝体、ゴシック体、Time New Roman等）は著者の自由とする。ただし、文字の大きさは10.5～11ポイントを標準とし、極端に小さく読み難いサイズは避ける。

# 図、表等に関して

適宜作成した図表を直接貼り付ける（研究会資料は白黒印刷になります。図表はグレースケールで作成するなど，白黒印刷で鮮明に見えるようご配慮ください）。手書きの場合は、用紙に直接書くか、白紙又は青色の方眼紙に墨入れしたものを貼りつける。とくに図又は表に書かれる文字が小さくなりすぎないように注意する。

# PDFファイルのデータベース化について

研究会資料として提出して頂いたPDFファイルは、提出して頂いたそのままの状態でデータベース化し、DVD等の媒体で配布することを予定しています。その旨をご理解いただいた上で、資料の作成および提出をしていただきますようお願いします。

# 紙原稿の返却

紙媒体で原稿を提出された場合、原稿の発表者への返却は原則として行っておりません。原稿の返却を特に希望される発表者は、原稿提出時にその旨を明記した｢連絡用紙｣を添付して下さい。なお、原稿は印刷物が整い次第、破棄しております。

# 著作権について

本研究会資料に掲載される論文の著作権については、日本音響学会の著作権規定によるものとします。

# 発行日について

著作権保護のため、発表日の1週間前（7日前）が発行日です。

# 原稿送付先

締切日（通常、研究発表会の2週間前）までに下記までご送付ください。

◆PDFファイルの送付先 (執筆依頼担当者と異なりますのでご注意ください)

asj-ncom-info@acoustics.jp

◆紙原稿でご提出を希望の場合は，幹事団までお問い合わせ下さい。

参考文献

[1] (雑誌の場合) 著者名，“標題，”雑誌名，巻，号，pp.を付けて始め－終りのページ，月(英語)年.

[2] (著書，編書の場合) 著者名，書名，編者名，発行所，発行都市名，発行年．

[3] (著書の一部を引用する場合) 著者名，“標題，”書名，編者名，章番号またはpp.を付けて始め－終りのページ，発行所，発行都市名，発行年．

[4] (国際会議の場合) 著者名，“表題，”会議名，No.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，都市名，国名，月（英語）年．

(一社) 日本音響学会　騒音・振動研究委員会